

# 2017 関西高校ボート部応援日記

—紫香部日記—

## 第三部

高校総体県予選……2p

中国大会……9p

全日本ジュニアボート選手権(JOC)……14p

国体県予選……20p

国体中国ブロック大会……23p

## 高校総体県予選

5月27日(日)百間川

ダブル A 国本・李、B 永島・長瀬、C 田中・近藤

シングル A 福田、B 市川、C 山本

クォド 山田・角南・熊谷・中村・尾上

朝から暑い。土手上で日傘をさしていても足元に当たる日差しは足の甲を容赦なく熱して来た。フラッと隣に女性が立ち止まった。関西保護者らしい女性は歳の頃から祖母だと分かった。尋ねると2年の田中のおばあちゃんだった。お決まりの様に

「そちらは何年生ですか？」

と聞かれた。

「・・・OBです。」

土手上に居るのはレースの全貌が見やすい事もあるが、1・2年の保護者に誰??と戸惑わせるのも申し訳ないからだ。

## ダブルスカル予選

1. 関西A・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 '56 "78
2. 東商B・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 '58 "56
3. 関西C・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 '08 "38
4. 東岡工・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 '06 "22

快調、快調。問題なし

## ダブルスカル予選

1. 備前緑陽・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 '37 "66
2. 東商A・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 '51 "78
3. 関西B・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 '59 "59

備前緑陽は太田君をダブルで登場させるという情報は新聞に出ていたので、強敵とは思っていたが、ここまで差をつけられるとは驚きだ。時々現れる怪物に触発されて、もう一人の子は必死で漕いだに違いない。決勝レースが楽しみだと思った。

暑い日差しに耐えかねて、角南母のお言葉に甘えてテントそばに降りてみる。小さな子供がワラワラしている。どうやら誰かの従兄達らしい。祖父母の姿も3組ほど確認できた。家族総出の応援とは素晴らしい！李のお父さんも来ていた。私は姿を拝見したのは初めてかもしれない。

### シングルスカル決勝

1. 福田竜己(関西A) . . . . . 4 '02 "49
2. 岡山操山A . . . . . 4 '03 "79
3. 備前緑陽 . . . . . 4 '06 "10
4. 市川凜(関西B) . . . . . 4 '18 "58
5. 山本龍一(関西C) . . . . . 4 '20 "80
6. 岡山操山B . . . . . 4 '28 "43

操山のピッチが上がりスパートをかけられた。差が縮んで行くのを感じながら見つめる。逃げ切った。

### クォドルプル決勝

1. 関西 . . . . . 3 '24 "18
2. 東商 . . . . . 3 '32 "82
3. 備前緑陽 . . . . . 3 '45 "96

見事なブッチギリで優勝した。朝日レガッタ優勝で自信がついたようだ。

さて、ここから2時間近く空く。OBの佐藤ご夫妻と喋ったり、中村母は6月のジュニアに行くため手術をさっさと受けたと頭の傷を見せてくれた。あーっ！今年もジュニアに行けるんだと一安心する。2年生の母2人が進路について佐藤母に話しかけているのを聞いてみたりしていたが、土手上にOB小林父と前田母をみつけたので、暑いのを覚悟して戻った。小林父は朝日の予選クォド1レースだけ観に新幹線に飛び乗って駆けつけるという男前振りを見せていたし、昨日は成田家で前夜祭(朝日プチ祝賀会)があったと聞いた。山地父とは今年も菊池にお供すると聞く。そうこうしていると林夫妻と高橋父も現れた。今年も行けるかも！？となるとOBギャラリーも増えて来る。森川夫人もご長男のお嫁さんと一緒に出発していると耳に入ったが、とうとう出会う事が無かったのは残念。今年1年生が沢山入部してくれたと聞くのもまた、嬉し。こんな事をしながらワクワクとダブルの決勝を待った。備前緑陽に関西Aが果敢に立ち向かう試合は今日のメインイベントかもしれない。

試合が終わったシングルとクォドが挨拶にやって来た。いつもは土手下に行くのに、何故か土手を歩いて来た。挨拶終わり引き揚げて行く所を写させて貰った。



熊谷が鉢巻きを川に落としたと先生が怒っていたが、全員している所を見ると、どっかから調達出来た様だ。私も息子の鉢巻きはTシャツやトレーナーと共に大事にとってある。

福田は朝日で会った私を覚えてくれたのか、ニコニコと近寄って来てくれた。写真をお願いするとポーズまでつけてくれた。鼻の下のマジックは森川先生からのプレゼント！



# インハイ出場決まった!



## ダブルスカル決勝

1. 備前緑陽 . . . . . 3 '43 "90
2. 東商A . . . . . 3 '57 "24
3. 関西A . . . . . 4 '00 "77
4. 関西B . . . . . 4 '13 "46
5. 東商B . . . . . 6 '39 "47

う〜ん。どうにもこうにもならんなあ。東にも負けとるやんけ。



勝てば取材も集まって来る

# 関西3年ぶり栄冠

男子かじ付き  
4人スカル

## ボート

(百間川コース)10000

【男子】かじ付き4人スカル  
①関西(山田、角南、中

村、熊谷、尾上)3分24秒18  
②岡山東商③備前緑陽▽ダブ  
ルスカル ①有本勝志・太田  
海也(備前緑陽)3分43秒90  
②山中・秋山(岡山東商)③  
李・国本(関西)▽シングル

①福田竜己(関西)  
②高尾(操山)③  
浅川(備前緑陽)  
【女子】かじ付き4人スカル  
①岡山東商(石原、細川、  
松本、壇上、中道)4分13秒  
98②備前緑陽③出場2艇▽ダ  
ブルスカル ①花島那奈・豊

3年ぶりの王座奪還だ。ボート男子かじ付き4人スカル決勝は関西が快勝し、インターハイ切符をつかんだ。

スタート直後、2連覇中の岡山東商に先行を許す展開にも「焦りはなかった」と熊谷。先の朝日レガッタで頂点に立ったクルーは中間地点でライバルを抜くと、約8秒差を付けてゴールした。

エルゴメーター(潜力測定器)の全国ランキング8位の中村を筆頭に高い能力を持つメンバーがそろったが、前年度は思うような結果を残せなかった。転機は6位に終わった3月の全国高校

## 焦らずひとこぎに集中

選抜。選手同士で話し合い、大会期間中は携帯電話を触らないなど生活態度を一から見直した。「オンとオフが切り替えられるようになり、ひとこぎ、ひとこぎへの意識も変わった」と主将角南。試合での集中力が格段に増したチームは本領を発揮し始めた。

関西にとってインターハイで過去3度優勝している看板種目。中村は「選抜で負けたチームに絶対リベンジする。どこにも負けない」。6年ぶりの栄冠で名門復活を全国に印象づける。(山本友志)



ボート男子かじ付き4人スカルで優勝した関西の(左から)尾上龍哉、熊谷亮哉、中村魁真、角南仁基、山田泰生＝百間川コース

田愛依(備前緑陽)4分32秒  
63③出場1艇▽シングルルスカル  
①久保田颯樹(備前緑陽)  
森(同)5分36秒60②瀬戸(同)③大

ちなみに・・・戸田では全日本軽量級選手権大会でした。OBも優勝してたぞ！



#### 森川先生のお言葉

おかげさまで、シングル・クオドが今夏のインハイ出場を決めました。が、朝日レガッタ以降のチームタイトル『皆で宮城へ行こう！』を達成することは出来ませんでした。過去（結果）は変えることは出来ません。しかし、未来は自分次第で変えることは出来ます。早く次に切り替えて努力していかなければなりません。なりたい自分をイメージして「今」を変えていかなければ。

今、楽をするな！ 今、最善を尽くせ！！ 思わないことは叶わない！ 夢は逃げない！！

特に団体種目であるクオドルプルは3年ぶりのインハイ出場となりました。この団体種目（フォア・クオド）は、平成元年から26年まで四半世紀以上勝ち続けていました。が、一昨年（H27）、ついにこの連勝記録は「26」でストップしてしまいました。全国選抜3位のダブルを中心にクオドを組むもののコンマ差の惜敗でした。（詳しくは当時のブログを参照して下さい。私は彼らを Good Loser と称しました！）そして、昨年（H28）もコンマ差で負けてしまったのです。しかし、一昨年と昨年とでは負け方が全然違ったのです。昨年は上記のようにチーム内に規律というものがなく、全てがチャランポランとなり、行動にいっぱい隙を作って、負けるべくして負けたのです。前年秋の中国チャンプが・・・?! 朝日レガッタ5位が・・・?! 勝負に絶対はありませんが、本当に情けなく思いました。そして、今年はその時の主力メンバーが多数残り、「もう二度と同じ失敗を繰り返さない！」と心に決めて、チーム内に規律を作り、日々練習に励んでくれました。

今回の優勝、嬉しいというよりもホッとした気持ちの方が大きいです。ほんまにヤレヤレです。やはり勝たないと意味がありません。勝つから面白いのです。そして、ますます成長していくのです。勝てば官軍です。

クオド以外にシングルスカルも優勝。シングルは福田竜己。本当によく頑張りました。感動させるレースをしてくれました。今大会、関西 TEAM の中では MVP と言っても過言ではありません。数ヶ月前までは自分がシングルで全国大会に行くなんて夢にも思っていなかったはず？！

朝日レガッタで「勝つ」喜び・レースの楽しさを知った彼は、日に日に成長していきました。顔付きまで変わってきました。チーム内で一番努力したのかもしれませんが、やっぱりレース前は緊張 MAX。レース前日も緊張からか？あまり眠れなかったようでした。そんな彼に私はこう言いました。「その緊張は誰が作ったんや？あなた自身だろ？！ならば自分自身で処理できるはず。勝負で一番大切なのは、『焦らず・恐れず』や！“決して死ぬわけじゃない。どっからでもかかってきなさい！”とあって挑戦せえ。無茶漕ぎでもいいから前を向いてガムシャラに行け！」

レースは500までB高校に出られて、そこから追い付きTOPに。すると600過ぎからS高校が徐々に迫ってきました。差は半艇身。福田は早めにスパートを掛けて何とか1秒差でゴール。ゴールした彼は手を上げて叫んでいました。そこには・・・「カッコいい福田」がいました。(いつもはあまり・・・?!笑) まさしく「感動させる人間」になったのです。同時に彼は「やればできる」ということを身を持って実感したのではないのでしょうか？！まっ、一番感動したのは、お父さん&お母さんかな？！でも、これも・・・親孝行だと思います。

**頑張れ、タツキ！！** もっと、もっと、もっと・・・感動させて下さい。

もう一つ嬉しかったことがあります。いや、クオド・シングルの勝利以上に嬉しかったかもしれません。

レース後、優勝を決めたクオドクルーは、新聞社・テレビ局から取材を受けていました。彼らは何を述べたのか知りませんが、ニヤニヤしながらインタビューを受けていました・・・とその光景を私は遠目で見ていました。取材後、某記者が私のところへ来られてこう言われました。「いいチームですねえ！今までとは全然違います。やっぱり規律が出来ているのですかね？！これからも勝って欲しいです。」この言葉に私は大変嬉しく思いました。

県総体前、2回、三年生を中心に旭川西中島町内の空き地の草抜きをさせました。私は「自分たちはここでボートをさせてもらってる」ということを自覚させたかったのですが、同時に彼らの中に何らかの規律が生まれたと思われる。この草抜きという作業が勝負に直結したのかどうかはわかりませんが、目標を達成しようすれば何らかの規律が必要となります。いや、彼らの方から規律が生まれて来なければなりません。これからも人から喜ばれるチーム、勝って欲しいと思われるクルーが育ってくれることを望みます。

で、ダブルは3位。インハイ出場はなりませんでした。レースを見ていて、つくづく「勝負に不思議な勝ちなし。不思議な負けなし。」と思いました。

朝日レガッタまでは絶好調だった・・・はず?! とにかく勢いがありました。雰囲気もよかったはず。それが大会後、県総体の出場クルーを知らせた翌日から彼らのテンションは下がりばなし。雰囲気もいつもの明るさはなく、暗～～いままでした。何が起きたのか? ライバルクルーに日本代表候補選手がいるということで、どうも彼らの頭の中で「負けるイメージ」があったのでは?! 挙げ句、大会2日前に、彼らの方からシート変更を申し出てきました。2日前とはいよいよ追い込みの時期。ありえません。私には何かしら「逃げ」を打ってるように思えました。そして、それでも上手くいかず、再び元のポジションに戻すという有り様でした。そういったことから心に「不」を付けていたのかもしれない。

やはり最後に勝負を決めるのは「心」です。明るさが福を呼び、暗さが魔を呼ぶのです。笑う門には福来る!!

朝日レガッタ以来、福田父が熱い。保護者の感想投稿が最近寂しくなっていた。応援の御礼投稿は律儀にアップされているが、やはり素直な保護者の気持ちが読んでいて嬉しくなる。先生が他の保護者に呼び掛けるも応答が無いままに日にちが過ぎて行く。福田は勝ったご褒美に廻らないお寿司を父にご馳走になった。また、福田父ちゃんは嬉しすぎて、子供達にドリンクの差し入れまでしていた。その気持ち痛い程分かるわぁ!

テレビにラジオにとピックアップされている。皆さん録画されているだろう。

## 中国大会

6月3日(土)、朝は冷え込む山陰の島根・さくらおろち湖で上には繋がらない中国地区の大会です。

06/03No1 9:00

M1X 予選 1組

①位	小山(鳥取東高校)	タイム:	3:40.59
②位	<b>中村(関西高校)</b>	タイム:	3:48.34
3位	中村(大津緑洋高校)	タイム:	4:04.08
4位	小田(宮島工業高校)	タイム:	4:10.52
5位	吉田(松江東高校)	タイム:	4:11.58

みんなで島根に

06/03No2 9:10

M1X 予選 2組

①位	<b>熊谷(関西高校)</b>	タイム:	3:38.67
②位	佐伯(広島工業大学高校)	タイム:	3:45.69
3位	福田(鳥取東高校)	タイム:	3:56.73
4位	菅沼(松江東高校)	タイム:	4:07.10

ヤマタ/オロチ退治に

行ってきました

06/03No5 9:40

M2X 予選 1組

①位	<b>関西高校</b>	タイム:	3:32.67
②位	松江東高校	タイム:	3:33.67
3位	鳥取東高校	タイム:	3:41.24
4位	松江北高校B	タイム:	3:44.61
5位	廿日市高校	タイム:	3:49.63

2Xは李・国本

06/03No9 10:20

M4X+ 予選 1組

①位	米子東高校	タイム:	3:19.97
②位	西市高校	タイム:	3:22.78
3位	<b>関西高校</b>	タイム:	3:26.31
4位	松江東高校	タイム:	3:27.74
5位	備前緑陽高校	タイム:	3:35.22

4X+は福田・永島



06/03No10 11:20

M1X 予選 3組

①位	角南(関西高校)	タイム:	3:39.85
②位	大田(宮島工業高校)	タイム:	3:48.37
3位	徳田(鳥取東高校)	タイム:	3:52.82
4位	小野(松江北高校)	タイム:	3:53.13

6/03No25 15:30

M4X+ 敗復 2組

①位	周防大島高校	タイム:	3:46.76
②位	関西高校	タイム:	3:47.94
3位	備前緑陽高校	タイム:	4:03.55



### 森川先生のお言葉

クォド・ダブル・シングル(3)、全て予選通過し、明日の準決勝へ駒を進めました。(クォドは敗復回りの勝ち上がりですが・・・) これも応援に来て下さった保護者の皆様のおかげです。会場には大勢の観客が来られてますが、関西サポーターの数が一番多く、声援が湖面いっぱい響き渡っていました。本当にありがとうございました。

06/04No29 9:30

M1X 準決 1組

①位	熊谷(関西高校)	タイム:	3:39.90
②位	佐伯(広島工業大学高校)	タイム:	3:45.84
3位	窪田(宮島工業高校)	タイム:	3:55.01
4位	徳田(鳥取東高校)	タイム:	3:57.65
5位	高木(松江東高校)	タイム:	3:57.88

06/04No30 9:40

M1X 準決 2組

①位	角南(関西高校)	タイム:	3:43.48
②位	小山(鳥取東高校)	タイム:	3:45.98
3位	中村(関西高校)	タイム:	3:53.19
4位	大田(宮島工業高校)	タイム:	3:54.90
5位	福田(鳥取東高校)	タイム:	3:55.27

中村、敗退！残念！

06/04No34 10:20

M2X 準決 2組

①位 関西高校	タイム: 3:30.34
②位 松江北高校A	タイム: 3:31.75
3位 宮島工業高校	タイム: 3:40.96
4位 米子東高校	タイム: 3:44.04
5位 松江北高校B	タイム: 3:48.95

06/04No35

M4X+ 準決 2組

①位 宮島工業高校	タイム: 3:28.27
②位 岡山東商業高校A	タイム: 3:31.50
3位 鳥取東高校	タイム: 3:32.55
4位 関西高校	タイム: 3:32.66



06/04No38 12:30

M1X 決勝

1位 熊谷(関西高校)	タイム: 3:48.01
2位 角南(関西高校)	タイム: 3:50.33
3位 小山(鳥取東高校)	タイム: 3:52.35
4位 佐伯(広島工業大学高校)	タイム: 3:52.57

優勝!  
準優勝!

06/04No40 12:50

M2X 決勝

1位 関西高校	タイム: 3:32.65
2位 松江北高校A	タイム: 3:34.22
3位 岡山東商業高校	タイム: 3:34.73
4位 松江東高校	タイム: 3:34.93

優勝!

応援団は750名から本日2回のレースで、full Powerとは言えない、李洵へのエールが10、国本へのエールが1と、声援を送り続けました。

すると、会場にどよめきがおきるほど、一気にスピードが上がり見事2艇を抜ききり見事1位で、気持ち良くゴールしてくれました。 角南母談

## 森川先生のお言葉

今回の中国大会、応援してくれた皆様のおかげでシングル・ダブルの部で優勝しました。シングルは、熊谷が優勝、角南が準優勝、つまり1・2 Finish。ダブルにおいては李・国本ペアが優勝。偶然かもしれませんが、5年前のこの大会でも、そして同じ場所で同じ結果だったのです。(詳しくは大会プログラムを参照して下さいませ)

私は前日(土曜日)のブログの最後にこう記しました。「明日はどんな自分が待っているか? どれだけ人を感動させるか?」彼らは本当に感動させてくれました。特にダブルのレースは圧巻でした。あれにはビックリしました。おそらく誰もが感動したのではないのでしょうか? 700m付近でブッチギリのビリ?! 私は「あかん! 負けとる。ビリや!」と思っていましたが、そこからドラマが・・・?! 本部席から観戦していた私は鳥肌が立ちました。

ここで李洵の手記を紹介します。「(前文省略) スタート前、ポッ〜とユル体操をした。そしてスタート。最初は全クルーが競っていたが、二人共ツイバコしてしまい一気に最下位になった。正直もう諦めかけた。そこから頭にいろんな事が思い浮かんだ。また朝日レガッタみたいにビリになる! 県総体みたいに3位に終わって、あんな悔しい気持ちを味わうのか?! そして、もしこれで勝ったらどれだけの保護者や皆が喜んでくれるのかな?! と思っていたらだんだんと応援が聞こえてきて、ここで出し切らなかつたら後悔すると思い、一か八か死ぬ気で鬼スパートを掛けた。そうしたら漕げば漕ぐほど、どんどん他艇を抜いていって気付けば一番出ていた。いつもだったらスパートで力が入らなくなるのに、だんだんと力が湧いてきてきた。バウの晃もMAXで叫んでくれた。ムチャ漕ぎだったけどトップでゴール。めちゃくちゃ嬉しかった! 陸に揚がってからいろんな人から祝福されて嬉しかった! (残り省略)」

そうなんです。奇跡が起きたのです。いや、奇跡ではありません! 勝負に奇跡なんてありません! 彼らは、弱い自分に打ち勝ち、自分を「突破」することで、新しい自分に出会い、そして「感動させる人間」になったのです。





6/5 山陽新聞朝刊

**男子2種目 関西が優勝**  
中国高校ボート

ボートの中国高校大会は4日、島根県のさくらおろち湖コース(1000m)であり、岡山勢は男子の関西がシングルスカル、ダブルスカル2種目で優勝した。

【男子】かじ付き4人スカル ①宮島工(久保、嘉屋、大加瀬、角本、大場、向井、西本) 3分28秒14 ②周防大島 ③米子東▽ダブルスカル ①李洵・国本晃・尾上龍哉(関西) 3分32秒65 ②須山・米原(松江北) ③山中・秋山・熊谷(岡山東商)▽シングルスカル ①熊谷晃哉(関西) 3分48秒01 ②角南(同) ③小山(鳥取東)

【女子】かじ付き4人スカル ①松江東(内藤、安達、清水、田中、浮田、林松原) 3分53秒42 ②鳥取商 ③米子南▽ダブルスカル ①河上万里・岩本樹美・岡田里英子(米子南) 3分59秒90 ②藤田・沖田(江津工) ③権代・田中・植田(米子東)▽シングルスカル ①福原萌意(廿日市) 4分42秒31 ②児島(米子南) ③木下(大津緑洋)

## 全日本ジュニアボート選手権(JOC)

6月7日(水)、熊本県菊池市の斑蛇口湖に向けて雨の中を出発した。梅雨入りした西日本では今後の日程が気に成る所だ。先生は昨日スマホを水没させてしまい気分は良くない。今年も山地父が運転手として同行している。道中、甘栗を購入していた。カーブが勝つと翌日2割引になるそうで、縁起物として阪神ファンにもかかわらず値引きには弱いみたいだ。

熊本ボート協会が選手と組み合わせの発表をしている。四国地区は愛媛県が占めている。学校別では美方と今西が5名選出され、次いで熊学が4名。岡山からは関西の角南・熊谷・中村の3名と備前緑陽の太田君。ジュニアは完全な順位が付く。世界を目指して戦う子もいれば、ここで刺激を受け、インハイ・国体へと力をつけて行く子もいる。さてさて、全員美方の子と並べる様でどうなることやら楽しみだ。



6月8日(木)、今日は龍神様にご挨拶に行き、『いがぐり苑』で昼食。懐かしい!私も9年前の大分国体の時に行った。結構マイクロバスが乗りつけていて人気のお店だ。残念ながらCOXの保護者にジュニアは縁が無かったからね。



がまだぜ!

### 角南 仁基

中国大会で負けた悔しさをバネに一つ一つのレースでぶつけていきます！  
もっと結果を残して勢いに乗りたいと感じています。  
しっかりと伸び伸び漕いで熊本のコースを楽しみたいと思います！  
明日からあるレースでは自分のスピードを出せるように頑張ります！

### 中村魁真

最初で最後の JOC です。勝ち負けも大切ですが、1 番は自分を進化させたいと思います。  
まあ、そのためにはレースで勝つのが 1 番なのですが(^\_^;)  
この大会を機にシングルを好きになりたいです。自分の出したエルゴの数値だったり  
今までやってきたことを自信に変えて必死のパッチで頑張ってきます！  
斑蛇口湖で漕ぐのは、とても気持ちよかったです！明日しっかり勝つイメージをしてきま  
した！！  
お昼は、先生が熊本ラーメンと馬筋おでんを御馳走してくださいました。とっても美味し  
かったです！自分を進化させられる日になると思う  
とワクワクしてきます。本当に、この JOC を機に、  
もっと強くなりたいと思います！明日は、楽しみ  
つつ頑張ります！！！！



### 熊谷亮哉

去年は全然ダメな順位でしたが、今年は先日の中国大会の様な、勢いで、最後まで漕ぎきって行きたいと思っています。

6/9

No.14	A 組	10:24	着順	
宇野 圭太	菊池高校	熊本県	1 6	09:32.92
島田 修弥	洲本高等学校	兵庫県	2 5	09:04.71
大野 良太	美方高校	福井県	3 3	08:43.37
遠山 秀雄	伏見工業高校	京都府	4 1	08:08.72
大田 龍	宮島工業高校	広島県	5 4	08:46.45
熊谷 亮哉	関西高校	岡山県	6 2	08:22.82

No.18	E組	10:56			着順	
	江島慧斉	千歳ヶ丘高校	東京都	14	08:30.88	
	<b>角南 仁基</b>	<b>関西高校</b>	<b>岡山県</b>	<b>22</b>	<b>08:22.59</b>	
	森長 佑	若狭高校	福井県	35	08:41.60	
	河畑 晴斗	美方高校	福井県	41	08:20.59	
	上田 海音	朱雀高校	京都府	56	08:51.82	
	船木 豪太	浜松北高校	静岡県	63	08:24.32	



No.21	H組	11:20			着順	
	滝川 修宇	横浜商業高校	神奈川県	14	08:27.97	
	<b>中村 魁真</b>	<b>関西高校</b>	<b>岡山県</b>	<b>2-</b>	<b>除外</b>	
	青木 洋樹	成立学園高校	東京都	31	08:20.50	
	藤長 寿哉	美方高校	福井県	42	08:24.05	
	嘉屋 春樹	宮島工業高校	広島県	53	08:26.69	
	川口 祥太郎	敦賀工業高校	福井県	65	08:30.25	

**何があった??**  
 レースすら出来ず除外  
 進路妨害?  
 中村母談

No.39	D組	準々決勝			着順	
	角野 泰一	大村高校	長崎県	16	08:50.57	
	佐藤 慧	佐沼高校	宮城県	25	08:33.85	
	小林 駿斗	岡谷南高校	長野県	34	08:33.29	
	太田 海也	備前緑陽高校	岡山県	41	08:18.45	
	<b>角南 仁基</b>	<b>関西高校</b>	<b>岡山県</b>	<b>52</b>	<b>08:22.29</b>	
	神崎 竜哉	阿賀黎明高校	新潟県	63	08:31.76	
No.43	H組	準々決勝			着順	
	ポンシアノ ル	小松明峰高校	石川県	15	08:44.18	
	佐竹 洸紀	阿賀黎明高校	新潟県	23	08:36.64	
	馬場 喜大	東舞鶴高校	京都府	34	08:41.77	
	青木 洋樹	成立学園高校	東京都	42	08:34.97	
	<b>熊谷 亮哉</b>	<b>関西高校</b>	<b>岡山県</b>	<b>51</b>	<b>08:28.61</b>	
	深艸 元輝	長崎明誠高校	長崎県	66	08:49.63	

**太田君には勝てんか!**

**おっ! 1着だ! ♡**

### 森川先生のお言葉

角南（予選2位⇒準々決勝2位）、熊谷（予選2位⇒準々決勝1位）が明日の準決勝に駒を進めました。これでベスト18（78人中）が確定しました。明日の準決勝では今まで経験したことのないような激しいバトルが予想されます。6艇レースの1上がり、この1位がA決勝に進むと同時に日本代表が確定します。まあ、過去の先輩はこれを普通に？突破して日本代表をGETしてきたのですがね。

また、中村は、予選H組・11時20分発艇。私は湖面橋の上で待機していましたが・・・待てど待てどレースが来ない?! すると私のケータイに大会本部から連絡が・・・。なんと、中村はスタートから4、5本漕いだだけで隣の1レーンの選手とチャンバラしてしまい、これがレーン侵害となり除外。悲しい結果となりました。この大会は敗復はありません。よって本来ならここで **The End** なのですが、本部にお願いをして最下位扱いにしてもらい、明日の順位決O組（73～78位決定）に出してもらおうことしました。私は今日の顛末について中村にこう言いました。「あなたの高校ボートはまだ終わった訳じゃない! これを伝説にせえ!」伝説とは **Happy End** で終わること。この大会で・・・悔しい・悲しい・恥ずかしいと思ったのであれば、今夏のインハイで何としても「優勝」しなければなりません。それができればスーパースターです。ただの除外で終わったのであれば伝説ではなく「笑い者」です。頑張れ、魁真! 男ならやってやれ!!

スタートいきなりコースアウトしてたのね。軽微な接触なら不問になります。そうでなければ除外に成ります。故意にすれば失格に成ります。審判が警告する間も無く曲がっちゃったのね。妨害された子にとって、そのままレースを続けると順位に関わりますから、中村を除外してスタートやり直したのでしょう。あくまで私の見解ですが。

ならば、順位決定でトップを捕れ!!・・・と言いたい。

6/10

No.54	H組	9:52		着順	
	中村 魁真	関西高校	岡山県	13	08:32.19
	渡部 弘也	今治南高校	愛媛県	24	08:32.72
	松岡 拓実	若狭東高校	福井県	31	08:22.98
	大加瀬 光陽	宮島工業高校	広島県	42	08:25.57
	稲田 壮真	宇和島東高校	愛媛県	55	08:34.82
	廣瀬 睦	大村城南高校	長崎県	66	09:13.25

No.59	B組	10:52		着順	
	嘉屋 春樹	宮島工業高校	広島県	16	08:24.40
	佐藤 樹	佐沼高校	宮城県	23	08:04.30
	河畑 晴斗	美方高校	福井県	32	08:02.24
	島田 隼輔	瀬田工業高校	滋賀県	41	07:56.64
	熊谷 亮哉	関西高校	岡山県	55	08:16.03
	角南 仁基	関西高校	岡山県	64	08:07.02

No.68	M組	13:26		着順	
	上田 海音	朱雀高校	京都府	24	08:43.56
	藪 颯也	津高校	三重県	32	08:28.08
	藤本 彪	今治西高校	愛媛県	43	08:36.66
	藤森 翼	下諏訪向陽	長野県	51	08:20.82
	中村 魁真	関西高校	岡山県	6	オープン 08:33.91



### 森川先生のお言葉

本日、準決勝。その準決勝 B 組に角南・熊谷が出ました。6艇の1位上がり。1位で勝ち上がれば A 決勝進出と同時に日本代表内定。2位 or 3位ならば明日の B 決勝。その B 決勝で上位に入れば日本代表内定と望みは十分あったのですが、彼らはあえなく4位・5位で Finish。特に角南は1500まで3位で踏ん張っていたのですが、そこから他艇に差されて4位。う〜〜ん、ラストがどうしてもギアが入りませんでした。苦しいところが勝負所でした。本当に残念でした。

明日は C 決勝 (10~15位決定戦)。泣いても喚いても明日が最終日、たった1本レースです。今後のレースに繋げるため、自身のプライドのため、「感謝」の気持ちを持って全力で挑戦して欲しく思います。

過去は変わらない。しかし、未来は自分で変えられる。

6/11

**あれっ？太田君ここ？棄権？**

No.76	C組	9:20		着順	
	熊谷 亮哉	関西高校	岡山県	15	07:49.02
	藤長 寿哉	美方高校	福井県	21	07:27.73
	角南 仁基	関西高校	岡山県	33	07:31.88
	太田 海也	備前緑陽高校	岡山県	4	棄権
	河野 颯次郎	松山東高校	愛媛県	52	07:27.92
	小見山 敬弘	若狭東高校	福井県	64	07:36.32

腰痛だったようです

3年の熊谷です。

今日、C決勝がありました。自分自身ここまで来れると思っていなかったのですが、自分がどこまでいけるか試すつもりで、臨みました。

結果は**14位**となりましたが、シングルラストのレースをとってもいいコースで漕げて良かったと思います。

3年の中村魁真です。**蛇行し過ぎ、フイバコしまくり・・・もったいない！！**

今回自分は、何位でしたと報告もできません。除外になってしまいました。本当に情けないし、アホすぎでした。でも、先生や審判の方や大会運営の方の、ご尽力のおかげで本当だったら出来なかったレースを2本もさしてもらえました。改めて自分は色んな人のおかげでボートをやらせてもらっていると分かりました。2本のレースや最終日のA決勝やB決勝を見て自分の未熟さ、弱さ、何が足りないかが分かりました。良い所を伸ばしつつ、悪い所を改善していきます。そして夏に必ず笑ってみせます。



**今年も美味しいご飯有難う**

三年の角南です。

今日でjocが終わりました。結果は**12位**で満足のいく結果ではありませんでした。

でも、自分の弱さがこの大会を通じてかなり分かりました。もっと練習して、国体県予選では必ず勝ちます！

### 森川先生のお言葉

レース後、11時頃に会場を出て、宿舎で荷物を積み込み、九州道・植木 IC に入ったのが11時50分。そこからほとんど休憩なしで爆走し（部員は爆睡）、岡山 IC を降りたのが夕方6時過ぎでした。こんなに早く帰岡したのは初めてです。百間川で艇降ろしまで出来ました。（例年なら翌日の月曜日だったはず）

で、肝心のレース《C 決勝》の方は、角南が3位で総合12位、熊谷が5位で総合14位でした。彼らはこの大会で2000m を4本も漕いで何を感じたか？ 特に前日の準決勝で同じ高校生が日本代表になっていく姿を目の当たりに見て、何を思ったか？ また、中村は橋面橋の上から決勝 A~C を見て何を思ったか？ なぜ自分は橋の上でレースを見ているのか？ 彼らと自分とは心・技・体において何が違っていたのか？ やっぱり勝たないと意味がない！！

これはサッカーのキング KAZU こと三浦知良の言葉です。「こんなところで終わっていいのかよ。負けたら（逃げたら）何も残らないじゃないか。そうしたら人生つまらないだろ。強く念じて気持ちが整ってきたら、知らないうちに底力が湧いてくる。」これからの貴方の底力、関西クルーの底力を見せて下さい。 **There is a way where there is a will.**

最後に・・・今回の遠征、私たちのために休暇まで取ってサポートして頂いた OB 保護者の山地さん、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。部員たちは今回の山地さんの好意を意気を感じて頑張らなければなりません。（そうでないと男じゃない！！）

### 国体県予選

6月18日の百間川は好天に恵まれている。相手は全て県立選抜だ。

#### シングル予選

一坪	県立選抜D	・・・	3	4	'08	"09	A決勝へ
田中	関西C	・・・	2	4	'04	"06	A決勝へ
福田	関西A	・・・	1	3	'53	"62	A決勝へ
高尾	県立選抜B	・・・	4	4	'19	"15	B決勝へ

列をなす様に水を開けてフィニッシュラインに飛び込んで行った。

### シングル予選

細野 県立選抜C . . . . . 3 4 '10 "08 B決勝へ

近藤 関西B . . . . . 2 4 '06 "73 A決勝へ

太田 県立選抜A . . . . . 1 3 '52 "15 A決勝へ

太田君強すぎです。後半流してます。私が審判だったら警告するくらいのスピードで流してます。

### ダブル決勝

県立選抜C . . . . . 4 3 '41 "66

関西B . . . . . 5 3 '44 "96 長瀬・永島

関西A . . . . . 2 3 '35 "77 国本・李

県立選抜A . . . . . 1 3 '26 "96

県立選抜B . . . . . 3 3 '39 "55

何で??太田君はおらんぞ!ムムム...

### クォドルプル決勝

関西B . . . . . 4 4 '27 "10

県立選抜A . . . . . 2 3 '18 "51

関西A . . . . . 1 3 '15 "25

県立選抜B . . . . . 3 3 '40 "57



### シングル決勝

太田君に負ける

2 福田 3 田中 4 近藤となる。

田中のおばあちゃまが日傘をさして上品な佇まいで階段に立っていらっしゃいました。

予選で終わりかと思われた様で田中母から決勝進出を聞くとにっこり微笑まれて

「すぐ帰るつもりで来たのですが・・・また来ます。」

孫の雄姿を見に時間を作って来てるんだなあ。ホッコリ!

OBもシングルで西崎君・増成君・浅野君が出ましたが惨敗でした。付きフォアに出ていないのは何故なのかよく分かりませんでした。誰に聞いても「岡山県がゴチャゴチャで・・・」と分かった様な分からない情報ばかりでした。

森川先生は怒涛の5・6月が終わるのが嬉しくて嬉しくて後日ブログにUPすると言いながらお忘れに成りました。よって『お言葉』なしです。





## 国体中国ブロック大会

6月16日(日)三連休のど真ん中、芦田川で酷暑の中行われた。フム、三連休の真ん中…。私の悪だくみは1か月前に思い浮かんだ。ここなら運転手が快く車を出してくれるだろう。餌は、福山の鰻屋でお昼！・・・思った通り直ぐに食い付いた。相手の事を熟知して入れば簡単に戦いに勝てるってもんです。鰻を食べに行くついでに芦田川を覗こう計画は当日を迎え、ドライブ気分でも高速に乗った。空いてる空いてる、快調に車は進んだが、クォドだけなのに試合開始の10時には着いてしまった。炎天下の中1時間半も待ってられねえ！と喫茶店に避難する。途中、先生がテントに一人で座ってるのを見かけた。この暑さ、流石に日陰に居ないと干からびますよね。

11時過ぎに再び河川敷へ行くと、OB保護者の一団が階段に腰掛けていた。現役保護者の群れにも佐藤父と山地父の姿も確認できる。私の主人は既に顔見知りの保護者は佐藤夫妻と光亦母くらいなのだが、それさえ臍気である。ここは一つ、気にしながらも放っておくしかない。

一発決勝のレースは危なげなく終わったかに見え、一艇身差があると言うか、しかないと言うか…。ビミョーに感じたが、勝ったんだから良いんです。愛媛に行けるんですから良いんです！

### クォドルプル決勝

鳥取県選抜	・・・4	3'24"46
宮島工業高校	・・・3	3'22"91
山口選抜	・・・2	3'20"48
岡山選抜	・・・1	3'18"28
松江高専	・・・5	3'35"66



↑他のチームは並んでテント建ててましたよ。  
関西だけ少し離れてます。

さあ、これで愛媛に行ける。その前にインハイが有るので牛タンを食べて是非とも良い戦績を残して欲しいものだ。

向かって来るクォド艇を覗き込む様に見つめる応援団 →





### 森川先生のお言葉

愛媛国体の出場権を獲得しました。11時20分発艇、700までは2位クルーと半艇身と競り合っていたが、応援保護者の前になると一気に加速し、2位と一艇身の差を付けてFinish。まさに保護者の皆様の応援が関西クルーを後押ししてくれたと言っても過言ではありません。昨秋、このクルーを結成して、県内・中国レベルでは一度も負けなかったことは評価してやりたいと思います。

で、レース内容は・・・今一歩でした。おそらくクルーメン誰も納得してないはず。やはり500m過ぎると加速が「ゆるむ」のです。(うちでは「タレる」と言ってますが) 勝つクルー&勝てるクルーは、決してゆるみません! タレません! 1000mレースでは展開などありません。(もちろんスパートの準備などありません) バケツをひっくり返したように最初からブツ飛ばし、途中でエネルギーが切れるぐらいのオーバーペースでゴイゴイ攻めていかなければなりません。そう、あのようなレースでは、インハイではまず勝てません。想像を越えるような激しい世界が待っています。今のままでは大火傷を負ってしまいます。もっと勇気と覚悟を持って、捨て身で勝負していかなければなりません。

OBも増成君がダブルで出場していたが、対抗レースで国体には全チーム行けるので早々に引き揚げた。ぶら下げた餌を食べさせないと行けないので。

しかし!! 12時前にして完売!と言われてしまい、有りつけないまま岡山へ戻る。岡山インターを降りて「たいぞうラーメン」で済まし帰宅。マジで1レース見るためだけのドライブとなった。マジ笑けるわwwwwww 私は得した感バリバリですが・・・何か?



### U-23 結果

日大の古米君は総合 24 位に終わりました。(7/23 日  
ボ発表)



## インターハイ出発直前の秘密の合宿

こっそり宇和島に行っていました。

10年振りに訪れたそうです。

ここでは一軒家を借りて自炊しながら練習しています。何を作って食べたんでしょうか？まさか！缶詰って事は無いですよ！？10年前にはそんな事もあったようですが・・・。



ところが、どうやら宇和島で惨敗をきって仕舞ったようです。「このままでは帰れない。」と思った先生は合宿を延長して今治に立ち寄って帰って来ました。

「勝ちます！」って言ってるだけじゃ勝てないんです！（とても優しく先生の言葉を変換してみました。）7月も終わって行く。インハイ頑張れー！！



